



- 甲府やまなみクラブ会長主題：Think Globally Act Locally 藤原 一正
- あずさ部長主題：よい結果をもたらす心の安定と考える力を 森本 俊子（長野）
- 東日本区理事主題：未来のために今、学びと気づきを、未来のために、
自信を育み、真の喜びに出会う！ 山田 公平（宇都宮）
- アジア太平洋地域会長主題：変革のための光となろう 利根川恵子（川越）
- 国際会長主題：輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen（デンマーク）

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2024年 1月
No.16



●今月の強調目標
PWA Regacy
EF JEF

●今月のことば
「20歳でも80歳でも、学び(活動)を止めたものは年寄りである。
学び(活動)を続ける者は、若くいられ続ける。人生において大切な
は、心を若く保ち続けることだ」
松本 公夫 君 選

今月の例会案内（第16回）

甲府・甲府21・富士五湖・甲府やまなみ合同例会

●日時：2024年1月9日（火）18:30～20:30

●会場：シャトレーゼホテル談露館

- ▼第1部 例会 司会:甲府21 後藤 哲夫 メン
- ・開会点鐘 甲府21クラブ 小澤 公紀会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条 一同
- ・今月の聖句一言 甲府21クラブ 駒田 勝彦 メン
- ・会長挨拶・ゲスト紹介 甲府21クラブ小澤 公紀会長
- ・卓話 日本YMCA同盟総主事 田口 努 様
- ・ユースタイム
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー/諸報告
写真撮影

- ▼第2部 懇親祝会 司会:甲府21 水越 正高 メン
- ・開会の辞 甲府やまなみクラブ 藤原 一正 会長
- ・食前感謝 甲府21クラブ 小野 興子 メン
- ・乾杯 富士五湖クラブ会長 小池 亦彦 会長
- ・ワイズディナー
- ・新入会員紹介
- ・しらいみちよチャリティコンサート
シンガーソングライター しらいみちよ 様
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 甲府クラブ 金丸 さぶろう 会長

12月のデータ

会員数:12名・例会出席:8名・例会出席率:67%
メーキャップ:土橋 修正出席率:75%
ニコニコ:3,000円

ハッピーバースデー

メネット 土橋 真美 (1/18)

●●●● 会長メッセージ ●●●●

新年のご挨拶

会長 藤原 一正



2022年9月に新たなクラブとして立ち上げました、甲府やまなみワイズメンズクラブも年度としては3年目の2024年を迎えました。

2回目の会長の任期もあと半年を残すのみとなっており、昨年は様々な会合に参加させていただきました。

昨年はクラブの例会の他に、あずさ部の諸会議、東西日本区交流会、東日本区大会、アジア太平洋地域大会等、様々な活動に参加させていただきました。また、チェンマイワイズメンズクラブとの交流もできました。さらに、ジュネーブのワイズ国際本部を訪問する事ができました。

活動としては、一昨年に引き続き「やまなしグローバルフェスタ2023」の開催も行う事ができました。チャリティーランやYMCAバザーへの参加など多くの活動も行いました。御尽力いただきました会員の皆様本当にありがとうございました。

新年は「お正月を遊ぼう」への参加からはじまり、合同例会など多くの活動がありますので、また積極的な御参加をお願い申し上げます。

今年は活動を充実させるとともに、会員を増やしてより魅力的なクラブ運営を行っていきたく思いますので、引き続き御協力をお願いしたいと思います。

【編集者註】新しい国際本部事務所への日本人ワイズメンの訪問は藤原さんが最初だそうです。

●●●● 12月例会報告 ●●●●

米山 俊彦

12月6日水曜日、甲府やまなみクラブの12月例会を山梨YMCAにおいて開催しました。

12月は、クリスマスの月という事で、今月のことばは、大澤祥子さんが“ルカによる福音書”から「今日ダビデの町であるあなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである」ということばを選ばれました。

また、お話の中では、東京での学生時代にキリスト教に出会うとともにYMCAの活動に参加され、その後は、ご主人である故大澤英二氏とともに山梨の地で新たにYMCAの発展にご尽力されてきた人生の一端をご披露いただきました。

ワイズディナーの前には、当クラブでは初めて、食前感謝の祈りを大澤さんに行っていたいただき、ますます、クリスマス例会らしいディナーとなりました。

また、食事の後には、藤原会長からタイ産のコーヒートと仙洞田さんからはケーキの差入れがあり、いつもよりもちょっと豪華で(?)クリスマス気分を味わえたワイズディナーとなりました。

卓話は、11月2日からのほぼ1ヶ月に亘った外国訪問から無事帰国された藤原会長から、その帰国報告をしていただきました。

香港での3日間のワイズメンズクラブ第30回アジア



12月例会ニコニコメッセージより

- ▼本日発表させていただきました。(藤原一正)
- ▼藤原会長のワイズ関係で香港、タイ、スイス訪問された報告をされ、勉強になりました。特に海外は物価が高いのに、驚きました。(松本 公夫)
- ▼藤原会長、ご苦労さまでした。(渡邊 隆)
- ▼ほぼ1ヶ月にわたって香港、タイ、スイスで大移動をされた藤原会長のバイタリティーに感心した今月の例会卓話でした。(米山俊彦)
- ▼藤原会長の帰国報告感謝(大澤祥子)
- ▼香港、タイ、ジュネーブetc色々な旅の風景に自分もワクワクしました。私も旅に出たい〜。(福田奈里子)

太平洋地域大会にはじまり、タイ・チェンマイでのロータリークラブインターナショナルの訪問、スイスでは、チューリッヒでのJCI国際会議への出席とともに、ジュネーブのワイズメンズクラブ国際本部訪問と、まさに“世界を股に掛けた”バイタリティー溢れる行動力に感心しました。



【歴代国際会長の肖像写真 @ 国際本部にて】

アジア太平洋地域大会で同時通訳という大役を担われた時の苦労話や香港とスイスの物価の高さに驚いた事、訪れた各地での地元の皆さんとの様々な交流の様子など、非常に興味深い帰国報告でした。

その後、やまなみクラブに提案されていた新たな主催事業への取組みについて、協議を行いました。その事業の趣旨や目的については、賛同する意見がありましたが、やまなみクラブが主催する事業としては、人員体制や財政的な面での課題が多く、現時点での実施は難しいという結論になりました。

やまなみクラブでは、これまでYMCAをはじめ、他の団体が主催する事業への協力、共催という形で、事業を行ってききましたが、そうした経験を重ねていく中で、今後、クラブとしての事業の幅をさらに広げていきたいと思いました。

最後に、役員会兼忘年会の日程と会場を決めて、閉会となりました。出席者 メン:藤原、松本、渡邊、大澤、仙洞田、遠藤(恭)、福田、米山

今月のことば

松本 公夫 君

人生100年時代と言われている現在、仕事やボランティアをするにしても健康な体と司令塔の頭は重要です。日頃からYMCAや地域のサポートをしているワイズメンの1人ですが、なにか合致している感じの言葉です。私自身今年79歳をむかえますが、色々な事を学んで活動する気持ち-例えば、自治会の複数の役職、YMCA絡みの複数の役職、通訳や外国人絡み複数の仕事、地域の人との交流スポーツ、各種イベントの手伝い等-12以上の学び活動に携わっていて、少しでも「心を若く、保ち続けて」いますが、この好きな【名言】をワイズメンと共有したいと思います。

役員会報告

- ▼日時:12月14日(木) 18:00~20:00
- ▼場所:魚そう北口分店
- ▼出席者:藤原、松本、渡邊、米山、土橋、仙洞田
- ▼1月~2月に予定されている各種行事への出欠締め切り等を確認した。
- ▼次期クラブ会長選出について協議した。役員会后、忘年会として懇親を深めました。



まちかどの近代建築写真展

やまなみクラブが協力している、「まちかどの近代建築写真展in藤村記念館」が12月5日から17日までの会期で開催されました。これに先立ち、12月4日(月)、藤村記念館において設営作業が行われ、松本、米山、仙洞田の3会員が協力しました。



Y-森のコーヒーを販売します



昨年の山梨YMCAバザーでも好評だった「Y-森のコーヒー(アカ山岳民族のコーヒー)」を、11月に藤原会長がチェンマイに行った折、20袋仕入れてきました。1袋が250g入りです。益金の一部を、YMCAのユース活動支援にできないか検討中です。購入希望の方は藤原会長まで。



会員短信



仙洞田さんが40年前から加入している読書会が、記念誌を制作したことで、12月20日の山梨日日新聞で紹介されました。この読書会は、山梨

YMCAの常議員・岩間孝吉さんや元甲府21クラブ会員の岩崎征吾さんらが中心となり1970年から始められ、初期の頃はYMCAを会場にしていたこともありました。

今年の抱負を漢字1文字で!

健

松本 公夫、大澤祥子

健康でグラウンドゴルフが上手になり優勝できるよう頑張る。健康で今年もボランティア活動ができるよう気を付ける。(松本)
今年も健康で過ごせますように。(大澤)

歳

渡邊 隆

昨年は喜寿(77歳)を迎える事が出来ました。還暦(60歳)、古希(70歳)、そして喜寿でした。いよいよ、人生最後の直線ラストスパートです。まだまだ、今までにないハードルが待ち受けています。傘寿(80)、米寿(88)、卒寿(90)、白寿(99)、百寿(100)、とても無理でしょ。でも、もっと長生きすれば、名前は付けてくれるでしょう。頑張ります。

学

米山 俊彦

昨年、ブリテンの「今月のことば」に江戸時代の儒学者・佐藤一斎の「言志四録」から生涯を通して学ぶ事の大切さを説いた一説を選びましたが、今年はその中の“老いて、学べば、即ち死して朽ちず”を改めて自覚し、「学び」を実践していきたいと思います。認知症予防のためにも……

開

藤原 一正

コロナで閉じていた社会が今年には本格的に開いていきそうな感じがします。昨年も大分コロナの影響から回復していたような気がしますが、今年から本格的にインバウンドが増えたり、海外に渡航できたりするかと思います。航空券がまだ以前のように安くはなっていませんが、今後国際的な行き来が増えていくように思います。

成

三井 雅之

成功や成果、会社の発展や売り上げの上昇に繋がることを願っています。

歩

仙洞田安宏

昨年の健康診断で、腹囲が基準値より1ミリ超えているという事で、10分多く歩くように指導されました(BMIは正常値)。やまなみクラブも一步一步着実に歩みを進めたいものです。

回

遠藤 恭範

2024年はRTA会長と消防団分団長の役割が回ってきました。干支も回って年男にもなりました。色々なことをうまく回せるようにしたいです。

空

福田奈里子

2024年は自分の内側の凝り固まったものの考え方や固定概念なんかをポイっとして一旦自分を空(から)にしたい。

温故知新～史料室の書棚から

「わたしの夢見るワイズメンズクラブ」

—異質の中の同質に学ぶ—第3回

布能 寿英

7. ワイズメンの親睦

私たちワイズメンは、YMCAを通して、いつも何らかの奉仕のわざを励みたいと願っているが、実はその奉仕の世界に自身を置かせる最高の場所は、クラブの親睦の場であると考えてよいと思う。

とりわけ、ワイズメンは、他のサービス・クラブに類例を見ないメネット、コメントを包み込んだ、いわばワイズファミリーと申してもよい独特の味わいを含んで、共に親しみ、共に交わることを組織的に確立している茶仕クラブであるから、ワイズメン以外の他クラブではこのようなファミリー的親睦の場は見出し難いと申せよう。

8. 「奉仕の心」を育てつつ

サービス・クラブに加入している会員共通の特性は、人々に対して面倒みのよい、即ち、自己犠牲の払える人であるといえようか。

わが甲府クラブの歴代の会長の姿を、いま静かに思いおこすとき、初代の市川規一会長をはじめ、代々の会長のほとんどがその範疇に入ることに気づくのである。そして私どもワイズメン会員のほとんどは、大なり小なり企業的組織に身を置く者であるが、その場合、自分以外の人、即ち、自分が接することのできる他の人々は、すべて自分にとって自己育成のための教材となっている。

「企業は人なり」

「人は心なり」とよくいわれる。

その場合、「人は心なり」の心とは、人は自己以外の多くの人々によって育てられていくべきもので、決して自分だけの一人歩きで成長できるものではないことを意味している。

かかる意味からいって、リーダーシップをとらんとする者は、ふだんたえず自分の心を育てておかなければならないと同時に、ワイズメンのキーメンバーは、いつも自らの心を開放しておいて、その中に他のメンバーから、自分の持ちあわせない異質の情報をすすんでとり入れ、自らの心の糧にしていく準備をおこたらぬことが必要であろう。

今後の予定

- ✓2月 7日(水) 2月TOF例会(山梨YMCA)
- ✓2月10日(土) あずさ部第2回桑都評議会
(高尾の森わくわくビレッジ)
- ✓3月 6日(水) 3月例会(シャトレゼホテル談露館)
- ✓3月 9日(土)・10日(日) 次期クラブ会長・部役員
研修会(東山荘)



山梨 YMCA 総主事

中田 純子

「感謝の時、新年おめでとうございます。」

先日、松本ワイズメンズクラブ35周年記念式典に合わせた「アジア賞作文コンテスト」授賞式が開催され出席してきました。創設35年、第25回作文コンテストの時を迎えられましたことに喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

今は亡き前理事長大澤英二氏は、熱い思いを胸に自ら長野に足を運び、YMCA運動を広げる為に、絶えず祈りを守られたのだらうと想像します。この思いに集められた人々が長野県松本市に松本ワイズメンズクラブを創設し、現在までの時を刻まれているのだと実感しました。

この「アジア賞作文コンテスト」は、これまで参加対象者をアジアの留学生に限定しておりましたが、昨年より限定を外しアジア以外の留学生も応募できるようにしました。さらに今年最優秀賞受賞者は、ポーランドからの留学生で、広き門となったこの事にも、とても意味があると感じた瞬間でした。

山梨YMCAは、連なる皆様の夢の実現の為、命に寄り添い共に生きる心豊かな地域共生社会を目指しております。また、これまでの喜びと感謝と共に互いを認め合い、高め合うポジティブネットのある社会を創るために、地域ニーズを捉えた活動の歩みを進めています。

世界の若者が、日本に留学を希望しワイズメンズクラブとつながり、自分たちが安心して生活できる場を見つけています。さらに将来の夢を見つけ、それぞれの場所で地域に貢献できる人材として巣立っていくのです。

これまで人と人との出会いに感謝してきたからこそこの賜物です。地球上の人々が目指す平和な世界のためには、世界各国の人々・文化を理解し認め合うことが重要です。そのためには、留学生との交流は不可欠であると考えます。知り合いになれば、そのひとを愛する心が生れ、支え合うことが出来、国と国との心のバリアフリーの確立につながります。

山梨YMCAに連なるワイズメンズクラブとして、この思いを共通に持ち活動の歩みを進めていただけてますことを希望いたします。

2024年も各ワイズメンズクラブの皆様の喜びと共にこれまでの歩みに感謝し、主による豊かな恵み与えられますようお祈りしております。